

< あなたの治療について >

血内-R-CVP 療法-q3w






今回の治療は、R-CVP 療法という治療法で、リツキシマブとエンドキサン（CPM）とオンコピン（VCR）という3種類の注射薬とプレドニゾロン（PSL）という内服薬を併用して行います。リツキシマブ、エンドキサン、オンコピンは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。プレドニゾロン（PSL）は副腎皮質ステロイドですが抗腫瘍効果があり、また、前記の薬と併用して治療を手助けする大事な役目をはたしています。4つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目と2日目に点滴を行い、2日目の点滴の日から5日間に渡って内服薬を服用します。この治療を3週間（21日間）ごとに6～8回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~6日目	7~21日目
	プレドニゾロン錠 (ステロイド) 40mg/m ²	内服	お休み		お休み

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	3~21日目
	アセトアミノフェン レスタミン (熱・アレルギーを抑える薬)	内服		お休み	
	リツキシマブ (抗がん剤) 375mg/m ²	点滴 約25ml/時			
	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分	お休み		お休み
	オンコピン (抗がん剤) 1.4mg/m ²	点滴 約15分	お休み		
	エンドキサン (抗がん剤) 750mg/m ²	点滴 約30分	お休み		

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

リツキシマブとエンドキサンとオンコピンについて

白血球減少、好中球減少 発熱、悪寒 頭痛 ほてり そう痒 悪心・嘔吐 脱毛

しびれ感

特徴的な副作用について

リツキシマブにおける

infusion reaction

「発熱、悪寒、悪心、頭痛、疼痛、そう痒、発疹、咳、虚脱感、血管浮腫」などの症状

* 血圧や脈拍などをモニターにて確認しながら点滴しますが、異常を感じた時はすぐに知らせてください。

また、発熱、悪寒、頭痛等を軽減させるために、本剤投与の 30 分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等を服用します。

エンドキサンにおける

出血性膀胱炎

「排尿時に痛みがある、尿が残っている感じがする、尿の回数が増える、尿が赤みを帯びる」などの症状

* 出血性膀胱炎の予防として、水分を十分に摂り、排尿に心がけてください。

オンコピンにおける

末梢神経障害及び筋障害

「手足のしびれ感、灼熱感、痛み：物がつかみづらい、歩行時につまづくことが多い」などの症状

* しびれがひどくなり、生活上の支障が出てきたときは必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

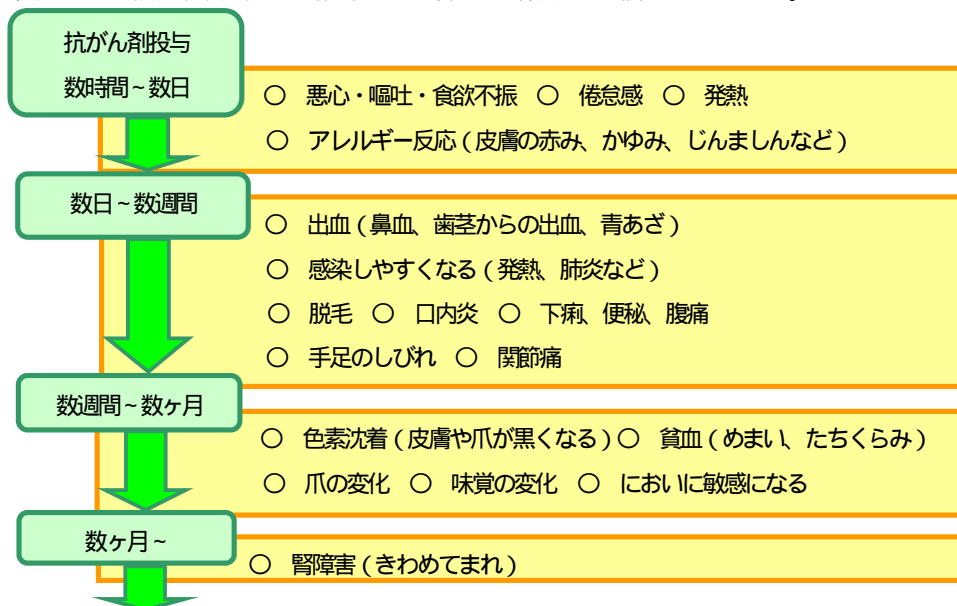
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗がん剤による副作用だけでなく、他の抗がん剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐, 下痢と便秘, 口内炎, 感染症, 出血, 貧血, 脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

**薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

【リツキシマブ】

<infusion reaction>発熱，悪寒，悪心，頭痛，疼痛，そう痒，発疹，咳，虚脱感，血管浮腫などの症状

<腫瘍崩壊症候群>尿が少なくなる、血尿、意識が薄れる、痙攣

<B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎、肝炎の増悪>白目や皮膚が黄色くなる；食欲不振・吐き気を伴った全身のひどい倦怠感；持続性の発熱

<肝機能障害、黄疸>発熱（38～39℃）；ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなる、下痢になる、しだいに強くなる全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい

<皮膚粘膜症状>発熱；関節が痛い；皮膚が斑に赤くなる、水腫れができる；くちびる、口内が荒れる；目が充血する

<汎血球減少、白血球減少、好中球減少、血小板減少>発熱、寒気がする、のどが痛む；口の中に白い斑点ができる；手足に赤い点（点状出血）または赤いあざ（紫斑）ができる、出血しやすい（歯ぐきの出血・鼻血など）；水のような下痢；口内炎；通常の生活をしていてだるさが続く、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる、顔色が悪いといわれる

<間質性肺炎>息切れがする、息苦しくなる；から咳が出る、発熱

<心障害>動悸・息切れ、胸が痛い、足のむくみ

<腎障害>尿量の変化、手や足のむくみ

<消化管穿孔>胃のもたれ；食欲低下；胸やけ；吐き気、胃が痛い；空腹時にみぞおちが痛い、便が黒くなる

<血圧下降>

<脳神経症状>視覚障害、聴覚障害、感覚障害、顔面神経麻痺など

【エンドキサン】

<心毒性>胸痛、息が苦しい、脈が乱れる、動悸

<ショック・アナフィラキシー様症状>寒気、吐き気がする、動悸、息が苦しい、発しん、かゆみ

<骨髄抑制>発熱、寒気がする、のどが痛む

<出血性膀胱炎、排尿障害>排尿時に痛みがある、尿が残っている感じがする、尿が赤みを帯びる

<イレウス、胃腸出血>激しい腹痛、お腹がはる感じ、便秘、吐き気がする、発熱、冷汗、血を吐く、便に血が混じる（黒い便ができる）

<間質性肺炎・肺線維症>発熱、咳が出る、息が苦しい

<心筋障害、心不全>胸痛、息が苦しい、脈が乱れる、動悸、疲れやすい、足がむくむ

<抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（SIADH）>頭痛、嘔吐、めまい、全身のだるさ

<皮膚粘膜剥脱症候群（Stevens-Johnson 症候群）、中毒性表皮壊死症（Lyell 症候群）>発熱、皮膚が赤くなる、皮膚や粘膜の水ぶくれ、全身の皮膚がひどく痛い

【オンコピン】

<末梢神経障害>四肢のしびれ、痛み、感覚鈍麻、運動障害、味覚鈍麻・消失。

<骨髄抑制>貧血症状、発熱、出血傾向。

<錯乱、昏睡>考えがまとまらない、時間、場所などが判らない、意識が完全に消失した状態。

<イレウス>排便の停止、腹痛、腹部膨満感、食欲不振、吐き気。

<消化管出血、消化管穿孔>激しい腹痛、吐血、下血、黒色便、吐き気、吐く。

<SIADH>全身倦怠感、頻尿、のどの渇き。

<アナフィラキシー様症状>呼吸をしにくい、じんましん、ふらふら感、冷汗、動悸、息切れ。

<心筋虚血>胸の痛み、圧迫感、狭窄感、冷汗。

<脳梗塞>突然認める片側の手足や顔の麻痺、しびれ、頭痛、言語障害、視力障害、意識障害。

<難聴>声や音がきこえない。

<呼吸困難及び気管支けいれん>呼吸をしにくい、発作的な息切れ、喘鳴（ヒューヒュー音）。

<間質性肺炎>発熱、から咳、呼吸をしにくい、頭痛、全身倦怠感。

<肝機能障害、黄疸>全身倦怠感、食欲不振、吐き気、吐く、皮膚や結膜などが黄色くなる。

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。